

## サウンディング調査 結果概要

対話項目		対話での主な内容
1 工事期間中の賑わい創出	(1)コンセプトや概要	(ノウハウに該当するため省略)
	(2)具体的な提案のアイデア	
	(3)提案の背景、点から面への波及の視点での工夫	
2 事業実施体制	(1)実施体制	・複数事業者と連携して実施。
	(2)周辺施設や事業者との連携	・連携の可能性あり。
3 業務内容、参加資格要件等	(1)業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの定義は？ ⇒例えば毎日実施するイルミネーションとは別に、単発のプロジェクションマッピングを実施する等、単発の企画のこと。</li> <li>・イベントスペースは敷地内にあるのか？ ⇒敷地内は困難であり、山下公園等を活用するなど検討してほしい。</li> </ul>
	(2)参加資格要件	・特になし。
	(3)事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度中に制作物の設置まで完了することは難しい。</li> <li>⇒スケジュールを再度検討する。</li> </ul>
4 その他	(1)活用にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展望フロアの活用は可能か？ ⇒設計段階では展望台フロアも工事で使用する予定だが、最終的には施工事業者が作成する施工計画による。</li> <li>・山下公園内に機材を常設することは可能か？ ⇒所管課に確認したところ、内容にもよるが常設は難しいだろうという回答。</li> </ul>
	(2)提供してほしい情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な施工計画を提示してほしい。 ⇒公募期間中に、可能な範囲で提案資格者に提供する予定。</li> <li>・電源位置、使用可能な電力、音に対する制限等を提示してほしい。 ⇒公募時に提示することを検討。</li> </ul>